応援 りんご生産者を応援しましょう!!

2021年9月27日週発行
カンパチラシ最終号

支援1 生産者支援カンパ

２３号（８月３０日週配布）から産直りんご生産者支援カンパを呼びかけ、

９月１０日現在カンパ総額**9,162,200円**が
寄せられました。たくさんのご協力･ご支援ありがとうございます。

支援カンパは10/15(金)まで受付中

➤引き続き、支援カンパへのご協力をお願いいたします

何口でも応援いただけます!

2021年産直りんご 生産者支援カンパ

014	015
一口200円	一口500円

▶お申し込み方法について

1 共同購入申込書で申し込み »

共同購入申込書の 014 015 の数量欄に申込口数をご記入ください。

※【例】申込番号 014 の数量を「2」と記入･入力された場合は、400円のカンパとして受け付けさせていただきます。

2 Web･スマホで申し込み »

GCWebやアプリ内、申込番号注文にて 014 015 を申込番号へご入力の上、申込口数のご入力をお願いします。

※画像はグリーンコープアプリ内、申込番号注文例です。

新規産地！

長野県「ぽんど童」よりご報告

古くからりんごの栽培が行われていた長野市長沼地区。この地区を通る国道は「アップルライン」と呼ばれるほどりんご畑が広がり、多くの直売所が軒を連ねる長野県有数のりんごの産地です。
しかし近年、農家の後継者不足などで遊休農地が増加している長沼地区。このような状況に危機感を覚えた若手農家たちで、りんご畑を守るために２０１０年に「長沼林檎生産組合ぽんど童」を立ち上げました。「令和元年東日本台風」では千曲川の堤防決壊により、甚大な被害を受けてしまった長沼地区のりんご畑ですが、多くの方々の協力により再びりんご作りを再開することが出来ました。助けていただいたみなさまのために、そしてりんご産地として更なる発展を目指し現在は１８名のメンバーで活動を行なっています。

支援2 利用カンパ

２５号（９月６日週受注）から２６号（９月１３日週受注）にかけ、早期予約りんごのお申込みを受け付けました。

２５号（９月６日週受注）の早期予約りんごのご利用実績は、約４４４トンでした。前年同週実績４３５トンに対し１０２％。

重量差 **＋9トン、＋3,000箱分**(3kg箱換算)と、

たくさんのご利用をいただきました。本当にありがとうございました。

早期予約りんご利用代金の３％を、産地に届けて支援します。

支援3 特別出荷基準

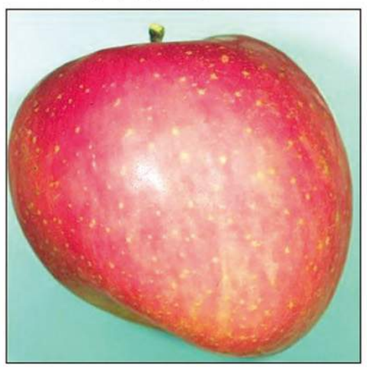
「どんな形であれ、実をつけたりんごは一つ残らずありがたくいただきたい」
－今季は「特別出荷基準」でお届けします－

▶サビ果

▶ヒビ果

▶枝ずれ果

▶斜形果



▶日焼け果

▶ツル割れ果

通常は一つの中心果とその周りに四つの側果が着いて一番バランスよく生育する中心果を残す（摘果作業）のですが、今季はりんごの開花時期に低温と遅霜に遭い、着果そのものが少なく、着果した果実もサビ果・変形果・キズ果などが多くなっています。
グリーンコープではこの大きな被害を受け、今季は「特別出荷基準」を設け、果肉や味に影響のないことを前提に、サビ果・変形果・キズ果などもお届けさせていただくことにしています。
組合員の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

産直ぽんど童の「秋映」（今季の企画は終了しました）

産地からの報告(ぽんど童)

今年は４月の遅霜の影響により、実を結んだ果実が少なく、収穫量・品質ともに影響が出ています。
果実の表面にアザのようなものが出来るサビ果が多く発生しています。元々サビが発生しやすい秋映での被害は顕著で、ほとんどの果実にこのような症状が出てしまっています。